

「保



マンションの一室を使い、少人数でのんびりとした雰囲気の中で子どもたちが過ごす家庭的保育—大阪市西区の「ソフィア南堀江保育園 保育ママ まどか」で

ク」。保育ママと補助者の希望者を市で登録し、両者のマッチングを行うという、全国初の制度だ。保育ママと補助者で乳幼児5人以下を預かり、2500人分の受け皿をつくることを目指す。

市が5月に保育ママと補助者を募集したところ、定員(120人)の2倍近い235人の申し込みがあった。保育ママのなり手が少ない中で予想外の状況だったが、市は「雇用拡大にもなる」として、全員を受け入れる方針だ。



「子ども・子育て新システム」に盛り込まれた地域型保育は①定員5人以下の家庭的保育②グループ型の保育ママ

マには補助者の管理業務など、保育以外の仕事が増える。多くの保育ママたちは「保育時間外の仕事が多く、休みが取りづらい」などの悩みを抱えている。

まな問題が明らかになりつつある」と指摘。法案審議を通じて、利用者も新システムの成り行きに注意する必要があると見られる。